

Weekly Report

2024-25



60th Anniversary

創立/1965年5月22日
例会日/毎週木曜日 PM12:30~
会場/江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
0587-54-8132

事務局/江南商工会館 別館1F
TEL/0587-55-6554
FAX/0587-59-7720
URL/https://www.kounan-rc.com
Mail/kounanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/南村 朋幸 幹事/三輪 慎一郎 会報委員長/横山 史明



2025年(令和7年) 6月19日(木)晴れ 第2839回(当年度第36回 例会)

点 鐘
司 会

ロータリーソング斉唱

四つのテスト斉唱

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

副会長挨拶



副会長 永田 広光君

皆様こんにちは。本日は南村会長がカナダのカルガリーで開催されますRC国際大会及びガバナーナイト出席のため、本日私が副会長挨拶をさせていただきます。当クラブからの国際大会参加は南村会長と伊藤靖祐パストガバナーが参加されております。会長代理挨拶は3回目です。貴重な挨拶体験は後程の副会長卓話にとっておきたいと思います。

さて、本会場での通常例会は今回が最後となりました。来週は最終例会となります。

1年間、理事の皆様はじめメンバーの皆様に支えられ、ここまでたどり着くことができました。本当にありがとうございました。後ほどの南村会長の卓話の代読をさせていただきますが、皆様への御礼の言葉もきっと盛沢山かと思えます。後ほどの会長卓話代読をお楽しみにしてください。

本日の副会長挨拶は、だいぶ前より会長から話を聞いておりました。私が台湾潮州クラブの周年に参加することが決まっておりましたので、潮州周年参加報告をまじえて、今回の副会長挨拶をしようと考えておりましたが、先週の例会の会長挨拶にて見事に事細かにお話されましたので非常に困った次第です。会長よりの潮州報告になかった部分を少しお話させていただきます。私、潮州クラブ50周年の折も参加させていただきました。今回の参加時もそうでしたが、10年前の熱烈歓迎では言葉が通じない分、飲めや飲めや、乾杯乾杯で日本代表として参加したにも関わらず恥ずかしながら早々と撃沈し、帰国したのを覚えております。今回は、江南の記念祝賀会の懇親会(二次会)の席で宣戦布告し、酒豪で知られる山崎君を盾に潮州クラブ記念祝賀会にのぞみました。本当は、さらに酒豪の田中弘一郎と3名体制で臨みたかったのですができませんでした。

潮州祝賀会では案の定、熱烈歓迎お酌が次から次へと入れ替わり立ち替わり江南メンバーの席へ来ていただきました。基本ビールでの乾杯でした。10年前と大きく違ったところは乾杯をして飲み干さない潮州メンバーが多数いたことと、コップの中身がまさかの水の方もみえました。なぜ水?と聞いたところ「今日、車だから」というまさかの返答が返ってきました。10年前では考えられない返答で本当にびっくりしました。

私の感想としては、潮州メンバーは、10年ぶりにお会いして皆さん酒も弱くなり老いたなど、直感いたしました。若手の潮州メンバーも多少みえましたが飲むイメージがない感じでした。

以上が祝賀会部分の会長よりの潮州報告の補足でした。本日は執行部よりの1年を振り返っての卓話をさせていただきます。本日の例会よろしくお祈いします。

幹事報告 -別紙- 幹事 三輪 慎一郎君

出席報告 委員 林 庸介君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
55名	45名	10名	84. 91%

ニコボックス 委員 林 庸介君

○川柳／を続けてみたが／センス無し
1年間お付き合い頂きありがとうございました。
南村 朋幸、永田 広光、三輪 慎一郎、北畑 祐二 各君
○おかげさまで、開業48年を迎えることが出来ました。
先日一寸嬉しいことがありました

倉知 正憲君

○6／19(木)一年を振り返って
南村朋幸君、永田広光君、三輪慎一郎君、
北畑祐二君 よろしくお祈い致します。
松岡 一成、古田 嘉旦、富永 典夫、杉浦 賢二、
堀尾 庄一、沢田 昌久、片平 博己、岩田 静夫、
長瀬 晴義、波多野 智章、中村 耕司、富田 清孝、
木本 寛、岩田 進市、近藤 道麿、田岡 剛

各君

卓話



会長 南村 朋幸君
(代読 永田広光君)

2025年6月19日、60周年の年度も間もなく幕を閉じようとしています。

改めまして、メンバー皆さまにおかれましては、一年間何かとご無理ばかりを申し上げたにも関わらず、寛大なる心で許容して頂きありがとうございました。私にとってこの60周年という節目の年に、皆さまとご一緒できた事が何よりも幸せであり、この瞬間を迎えられることは無常の喜びであります。本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

本日は、伊藤パストガバナーとカナダカルガリーにて国際大会及びガバナーナイト参加の為、例会に出席できず申し訳ありません。私のこの原稿を永田副会長に代読頂くのですが、永田副会長には本年は2. 5回もこのような機会をお願いすることになりました。

1回目は年度当初の7月25日、一宮RC会長幹事が来訪された時でした。不覚にも三輪幹事と揃ってコロナに罹ってしまい、やむを得ず欠席となり原稿代読をお願いしました。

1. 5回目は年末家族会で交通状況を甘く見たが故に、大幅な遅参をしてしまい、その間の間繋ぎをして頂きました。一応欠席では無いので0. 5回のカウントをさせて頂きました。そして本日の公務欠席に対しての代読で延べ2. 5回になります。

思えば、永田副会長には執行部のご意見番としての役割を全うして頂きました。会議をしていても他の三人が詰まってしまうと、必ずと言っていいほど適切な助言で割って入ってくれます。年度後半は仕事の都合で忙しくなったようですが、何とか頑張ってくれていました。私はJC時代からの長い付き合いで、彼のことは結構知っているつもりなので、そういった意味では身内が執行部にいるようでとても心強い存在でした。代読で今の部分を恥づかしそうに言っているのが目に浮かびますが、ありがとうございました。

三輪幹事は、見ての通り大人しくひょうひょうとした感じですが、よく細かい部分に気が付き、特に書類の誤記などを発見してくれていました。そういった意味では幹事としての役割をしっかりと全うしてくれていました。一つだけ難点を挙げるならば、私と比べて声量が控えめでマイク越しでも聞きづらいことがあったかも知れませんが、ある会合で私がスピーチしている時に、マイク越しの音がうるさく感じたのかホールスタッフがマイクの音量そのものを慌てて下げに行くのを見えました。マイク音量は下がり、ちょうど良い聞こえ具合になったと感じました。ところが次に三輪幹事が同じマイクで話す順番が来たのですが、スタッフが元のマイクボリュームに戻すのを忘れたのでしょうか。三輪幹事が話し始めた途端、本人もマイクスイッチが切れているのかと思うほど、控えめな外音になってしまい、どれだけ会場に聞こえていたのか怪しいという一幕がありました。このエピソードから見るとどうやら三輪幹事の声量が控えめなのではなく、私の声量がデカすぎるということになるようです。このように三輪幹事は私に無い部分を数々持っていて、そこがお互いを補完し合って良い作用を生んでいたのだらうと思います。

北畑副幹事、もとい北畑俳句名人には、一年間ニコボックスの執行部コメントを俳句にして作ってもらいました。詩集みたいな冊子としてまとめればいいのに、と思うくらい中には秀逸な作品もあり、意外な才能の発掘になったと感じました。ただこの場合、書を見せるのではなく口頭だけでの読み上げになる為、読み手の技術如何によってもメンバーに内容がうまく伝わらないという弱点もありました。いつもいつも素晴らしい俳句をありがとうございました。例年でいくと副幹事ってそんなに仕事は無いのだけど、今年周年でおまけに会長が南村だったということが災いしましたね。心中お察しします。

この三人の執行部がいたからこそ、私も会長職を何とか全う出来たと思っています。本当にありがとうございました。

さて話は変わりますが、本年は8つの重点目標を掲げ、活動してまいりました。ここの場をお借りして、私なりの総括をしたいと思います。

まず一つ目は、3つの創立60周年記念事業の実施。これにつきましては橋下徹講演会、布袋マルシェ、記念祝賀会の3つを実現することができました。伊藤実行委員長、堀尾副委員長、片平副委員長、岩田副委員長はじめそれぞれをご担当いただいた委員長皆様、本当にありがとうございました。特に講演会での濱島委員長、

マルシェでの中村委員長、祝賀会での波多野委員長にはそのスキルを如何なく発揮され、見事に完遂されました。本当にありがとうございました。

次に二つ目としてクラブ例会時、服装の自由化です。これにつきましては、ロータリーの基本は例会に出席することである、の理念に立ち返り、出席しやすい環境作りの一環としてこの政策を実行しました。この政策がどれほど効果を生んだのか計り知れない部分はありますが、私は一定の効果が得られたと自負しております。

次は三つ目の地区大会・IMにおいて全員登録をし、尚且つ積極的に参加する、でございます。例年IMの全員登録は慣例として行われてきましたが、地区大会については今年度同じ東尾張分区の春日井RCがホストということで、これも数年に一回の割合で回ってくる義理事としてメンバー皆さまにご理解とご了承をいただき実現することができました。ありがとうございました。

四つ目は60名会員数を目指し積極的な会員増強を行う、でございます。これについては60名には達することが出来ませんでした。山崎委員長のご尽力のお陰で8名の新会員を獲得することができました。また陰ながらの功労者として、会員選考の古田委員長、R情報の濱島委員長にも延べ8回の面談を実施していただきました。ありがとうございました。今後はこの8名の方のフォローを当該年度会長としても見守っていきたいと思います。重ねて情報提供並びにご紹介頂きました皆さま、ありがとうございました。

五つ目でございますが、マイロータリー登録100%の達成です。この原稿を執筆している段階で100%まであと残り4名までできました。濱島委員長の地道な登録作業のおかげで何とかここまで漕ぎ着けました。100%達成目前ですが、これを今年度以内に達成すること、あと99%では何の意味もないということをご認識いただき、「あとでやっておきます」はNGなので、濱島委員長にお任せ頂いて残り4名の方のご協力を何卒お願いします。

六つ目のRFFへのコミットを含むポリオ根絶に向けた積極的な活動推進ですが、これも目標を大きく達成できたと思います。やはり一番大きかったのは、橋下徹講演会でしよう。伊藤実行委員長の最後の呼びかけで市民の方と橋下徹さんご本人にもインパクトを与え、約70万円もの寄付を集めることができました。またこれとは別に、猪子委員長にお願いし、テーブルコイン募金を始めました。一回ごとには小さな金額ですが、「塵も積もれば山となる」の言葉通りやがては大きなウネリとなります。今回、猪子委員長に募金箱の作成もお願いしたのですが、さすが猪子委員長、随所に工夫が凝らされていました。特筆すべきは、コインが故に例会中に投入したときに音が鳴らないようクッションを内部に取り付けたことです。猪子さん、ありがとうございました。今後もこのコイン募金は是非続けて頂きたいと思います。

公共イメージ向上の為の取組強化、が七つ目です。これはホームページの更新やWEBの整備が及び報道機関との関係強化でした。ホームページの更新は年度が変わったと同時に更新切り替えが出来ました。またWEB整備については、全て濱島委員長に一任をしていました。報道機関との関係強化についてもほとんど岩田静夫さんにお任せでしたが、しっかりと各種周年事業の宣伝がとても効果的出来たと思います。濱島委員長並びに岩田静夫さん、ありがとうございました。

そして最後の八つ目は、地区クラブ優秀賞・ガバナー特別賞の獲得、でございます。これについては、先日6月14日(土)の地区の締め括りの場である地区役員並びにクラブ会長・幹事懇談会の場におきまして、ガバナ

ー特別賞を受賞することができたので、目標達成となりました。ありがとうございました。

そして、もう一つ重点目標ではありませんでしたが、戦略特別委員会の結果もお知らせしたいと思います。戦略特別委員会は今年延べ4回行いました。私を委員長として、副委員長に地区に精通している伊藤靖祐さん、各年代や性別、ロータリー歴などのカテゴリーに分けて私が選抜し、沢田エレクト、近藤ノミニー、伊藤かね子さん、猪子さん、片平さん、田崎さんと多彩なメンバーで構成しました。中身もとても濃厚で一度も脱線することなく、議論を重ねました。今年度の戦略特別委員会の特徴としては大きく二つ挙げられます。一つは、テーマを明確にして事前に構成メンバーに知らせること。これにより、皆さんそれぞれが委員会の日までに思いを巡らせ、下調べをして臨むことができます。このことで充実した議論ができたのだと思います。二つ目は、とても大事なことです。議事録を必ず録るということです。こういった会議ではありがちなことです。せっかくの良い議論が出来ても時が経つと忘れてしまい、また同じ議論を堂々巡りで繰り返してしまう、これはとても非効率な話でそれを避ける目的と、この戦略特別委員会があくまでも中長期に亘って戦略を練っていく委員会であって、決定機関ではないということを念頭に、数年単位あとも議論の行方が分かるように残しておくことが大切だという観点から制度として設置しました。また、この議事録を録る係は委員の方をお願いすると、議論に集中できないことを避ける為に、三輪幹事に毎回お願いをしました。三輪幹事、ありがとうございました。あと付け加えればこの議事録もどこかに紛れて書棚の奥底にあるようでは活用できないので、これ専用のバインダーファイルを作り、見えやすい場所に保管をしていき、しかも以降の年度もこのバインダーファイルに上積みでファイリングしていくことが大事です。こうしておけば今後、過去の戦略委員会での議論がなされてきたのかが明瞭になります。今後の皆さんも是非参考にさせて頂きたいと思います。

以上、つらつらと述べてきましたが、何度も言いますが、これら全てメンバー皆さまのお陰の賜物です。本年度の通常例会は本日をもって終了いたしますが、来週6/26の最終例会もありますので最終最後までよろしくお願ひ致します。

結びとなりますが、本年、私に賜りました数々のご厚情に深く感謝申し上げますと共に、来年度沢田会長にも本年以上のご理解とご協力をお願い申し上げ、私の総括とさせて頂きます。

皆さま、本当に本当にありがとうございました。



副会長 永田 広光君

7月4日年度始めの例会で「本年度の目標及び方針計画発表」を発表させていただいてから、本日の1年の振り返りまでであったという1年でした。

60周年の節目の年にふさわしい多くの事業、橋本徹氏の後援会、布袋マルシェ、60周年記念祝賀会、懇親会、台湾潮州周年への参加と非常に中身の濃い充実した本当に時間の経つのが早い一年でした。そう感じるのには私だけではないと思います。

メンバーの皆様には多くのご負担の願いをし、多くの各事業への参加をいただきましたこと心より感謝申し上げます。また同じ執行部として会長、三輪幹事、スーパーなんでもふられてもこなしてしまう北畑副幹事と、同じ年度を過ごせたことに感謝しております。

あらためて北畑副幹事のほしがりさんぶりににはびっくりさせられました。

本日の入口の等身大パネルを見ていただいても分かるように、南村会長のきめ細やかな気遣いと、本日の執行部の正装を見ていただいても分かるように礼節をすごく重んじる部分は本当に尊敬いたしますし、自分もそうでありたいと思います。なかなかできませんが。

そんな色々細部にまで目の届く南村会長のもと、副会長の役職をお預かりし何とか本年度を終えることができそうです。執行部プラス事務局渡邊さんとの5名でのLINEグループのやりとりは、数えきれない程のやり取りでした。7割程は会長発信ではないかと思えます。

昨晚もロス現地時間午前3時に、来週の天風の湯で行われる最終例会のことが気になりLINE連絡がきました。私は「寝てください」とそっと返信をしておきました。

副会長は会長の不在時の代役が主な仕事ではありませんでした。会長の代役挨拶は、今回を含め3回でした。はじめは年度スタートの例会挨拶の代読こちらは会長原稿ありました。2回目は年忘れ家族会での開会スタート時間に会長間に合わずまさかまさかの緊急登板。そして今回の国際大会出席のための代理挨拶でした。

各事業の担当者の皆様への御礼は、会長総括の中でお話されておりますので割愛をさせていただきますが、本年度は例会出席率も高く、多くの新会員をお迎えし本当に充実した1年でありました。

最後になりますが改めて皆様に感謝をこめて御礼し、副会長の1年の振り返りとさせていただきます。

1年間ありがとうございました。



幹事 三輪 慎一郎君

1年を振り返ってという事ですが、幹事の役割は予定者段階から大変でした。

まずは前年度の1月から四役会がスタートし、委員会構成・年間行事予定表・収支予算書等の叩き台を作って四役会で検討し、3月の第1回クラブ協議会から始ま

り、3回のクラブ協議会にて協議を重ね、やっとの思いで「クラブ計画書」が完成し、2024-25年度がスタートすることができました。

本年度が始まると、例会や理事会は予定通り進んで行き大変さは感じませんでしたが、今年は60周年のイベントが盛りだくさんで、そちらが大変でした。

記念講演会では来賓の受付係、KONANマルシェでは総合受付等でしたが、記念祝賀会では潮州ロータリークラブとの姉妹クラブ調印式・来賓紹介・神戸館での懇親会の担当で、シナリオや次第の作成も行いました。私自身、間違いや至らぬ点もありましたが、皆様のご協力のお陰で大変盛り上がり思い出に残る事業となりました。

また、物故者法要では初めて法要の進行をさせて頂き、貴重な経験となりました。

あとは、寄付・寄贈の担当ということで、江南市・大口町・江南警察署の担当の方と打ち合わせを行い、寄贈品の選定や贈呈式の段取りを行いました。江南警察署長様には曼陀羅寺例会にも参加して頂き、貴重な卓話を頂くことができました。

そして、2月には友好クラブの熊本江南ロータリークラブの例会に会長と二人で参加し、その後2次会・3次会と大変な歓迎を受け楽しい思い出となりました。

また、6月には姉妹クラブの潮州ロータリークラブを総勢19名で訪問し、台湾の方のパワーに圧倒されました。2泊3日で台南や台北も観光し楽しい旅行となりました。振り返るとあつという間に感じますが、長くてヘビーな1年となりました。

皆様には、色々な場面であたたかく接した頂き、1年間本当にお世話になりました。来年度は、地区のRYLA委員会に出向しますが、クラブに迷惑が掛からないように頑張ってみます。1年間ありがとうございました。



副幹事 北畑 祐二君

本年度、副幹事を務めさせていただきました、北畑祐二です。

1年前の7月に副幹事としての抱負発表をしたのがまるで昨日の事に思い出されます、当時は何を言ったかは覚えていませんがたぶん副幹事は執行部のニコボックスのコメントと会議の議事録が役割だと話したのだと思います。

そのニコボックスのコメントの件ですが、当初年度初めに結構真面目に「本年度は60周年と言う節目の年となりますのでメンバーの皆様にはご協力の程、1年間宜しくお願い致します。」みたいなコメントだったと思います。それを事前に4役会で見せたら永田副会長より「長すぎていかん！」

「コメントは短く簡潔に！」と言われ、俳句みたくにした

方がいいかなあといったら「それで」と言われた事から始まりました。
私も初めの1ヶ月くらいは例会前には何とかいい俳句をと思ひ考えておりましたが、1ヶ月も過ぎるとすでに後悔が頭をよぎり始めました。何度途中でやめようかと思いましたが一番申し訳ないと思ったのは、例会当日に読み上げをしてくれている例会運営委員会の松野君や林君には本当に申し訳ないと思っております。だいたい8割がたは滑った内容になっていたと思います。
実は滑った俳句を作っていたのは私でございます。一応真剣に取り組んだつもりでしたのでご勘弁ください。こんな罰ゲームも何とか1年終了致しました。

その他の役割として補助金の申請を担当しました。これも私は初めての経験になりますが、通例では担当委員長が担当事業の補助金申請をするそうですが本年は暇な委員長がいないという事で私に役割がまわって来ました。もちろん補助金セミナーを受けましたがその時は何が何だかわかりませんでした。
今年は「江南マルシェinHOTEL」で補助金申請をする事になったのですがあまり事業の内容が煮詰まっていない状態で適当ではないのですが、適当に予算書や事業計画書を作成しました。
2～3回ほど差し戻しもありましたが申請が通りました。その時は意外と簡単だと思いましたが、大変なのは事業報告書の申請でした。今回のマルシェでは予算書が大幅に増額になっており、こっそりと地区の担当者に決算が大幅に増額しても大丈夫ですかと確認をしたら、「そんな報告書はあり得ません！」と言われてしまいすごく頭を痛めました。いろいろな人からアドバイスを頂き全てを報告する必要は無い事を知りました。逆に予算書にそって金額をあてはめて決算をする事で何とか申請を終了する事が出来ました。事務局の渡邊さんにも大分ご迷惑をおかけしました。

今一度振り返ってみても特に爪痕を残す事もなく、執行部として何がやれていたかはわかりませんが、いろいろな場面に参加をさせて頂き、また永田副会長にはじめられながらも良い経験が出来たと思っております。こんな経験もしばらくは無くてもいいかなあと思っております。執行部の皆様には大変お世話になりました。またメンバーの皆様にはご指導、ご協力を頂き誠にありがとうございました。



本年度4役役員の皆様によるお出迎えをさせて頂きました。



お出迎えのご挨拶



点 鐘

副会長 永田 広光君

本日の食事



ワイン会



6月20日(金)19時より、江南市内の「MADOCAFE」(マドカフェ)にて第19回ワイン会が開催されました。次年度入会予定されております川口さんのお店になります。ワイン会会長 堀尾庄一君より挨拶がされました。



お食事になります。



会長エレクトの沢田昌久君より乾杯前のご挨拶



お食事の風景です。



乾杯





次回20回目になります。堀尾庄一君より長瀬晴義君に会長のバトンが渡されました。

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインをご覧ください。



ROTARY 2760 アプリダウンロードはこちら



江南 RC 会報 YouTube チャンネル登録はこちら

写真等ございましたら会報までお知らせください。
(担当 田岡 剛)